

## 1. 研究課題名

トキの野生復帰のための持続可能な自然再生計画の立案とその社会的手続き

## 2. 研究代表者氏名及び所属:

島谷幸宏 九州大学大学院工学研究院



## 3. 研究実施期間

平成17年度～19年度

## 4. 研究の趣旨・概要

佐渡では平成20年にトキの試験放鳥が予定され、平成27年までに60羽定着を目指す、放鳥・定着スケジュールが計画されている。本研究の目的は、トキの野生復帰に向けて「自然のおよび社会的に持続的で実現可能な試験放鳥計画」を立案し定着させることにある。そのために、自然科学系から人文・社会科学系にいたる分野横断的な実践力のある組織体制を構築し、トキの野生復帰に向けて、これまでにないユニークな自然再生計画の立案から実施を網羅した、社会に確実に定着させるための手順を具体的に明示する研究プロジェクトを実施する。

具体的には、放鳥サイトとして予定されている佐渡国中平野東部に対して餌場および営巣環境の現状を評価し、再生手法を提案していく。餌場あるいは営巣場所の現状と再生手法を明らかにするためのフィールド研究とともに中国野生トキの情報の収集および2年後に試験放鳥される国内トキの情報を加味し、自然再生計画を立案していく。また、住民の方々とのワークショップを重ね、自然系の研究者によって提案される自然再生計画が社会に受け入れられるように改良し、合意が図られるための手続きについても研究する。

湿地や干潟の再生は世界的に大きな潮流となっているが、本研究で目指す自然と社会の再生は、世界の生物多様性保全戦略に貢献しうる有効なモデルになると考えられる。さらに、本研究では、中国トキの調査研究を通じて、中国との連携を強化し、国際的なトキの個体群管理法の確立を目指す。またこれらを通して日中友好関係の構築にも大きく貢献すると考えている。

## 5. 研究項目及び実施体制

自然再生計画の立案に関する研究

- (1) 採餌環境としての河川生態系の評価 (九州大学)
- (2) 採餌環境としての水田・草地生態系の評価 (東京大学)
- (3) エサ場創出維持技術の確立 (新潟大学)
- (4) 営巣環境としての森林生態系の評価 (新潟大学)
- (5) GISによる水田・河川・森林環境情報の一元的管理システムの確立 (埼玉大学)
- (6) 中国におけるトキの生態情報の収集 (山階鳥類研究所)
- (7) 国内放鳥トキの生態情報の収集 (国立環境研究所)

社会的手続きに関する研究

- (8) トキの生息環境を支える地域社会での社会的合意形成の設計 (東京工業大学)

## 6. 研究のイメージ

トキの野生復帰のための持続可能な自然再生計画の立案とその社会的手続き

